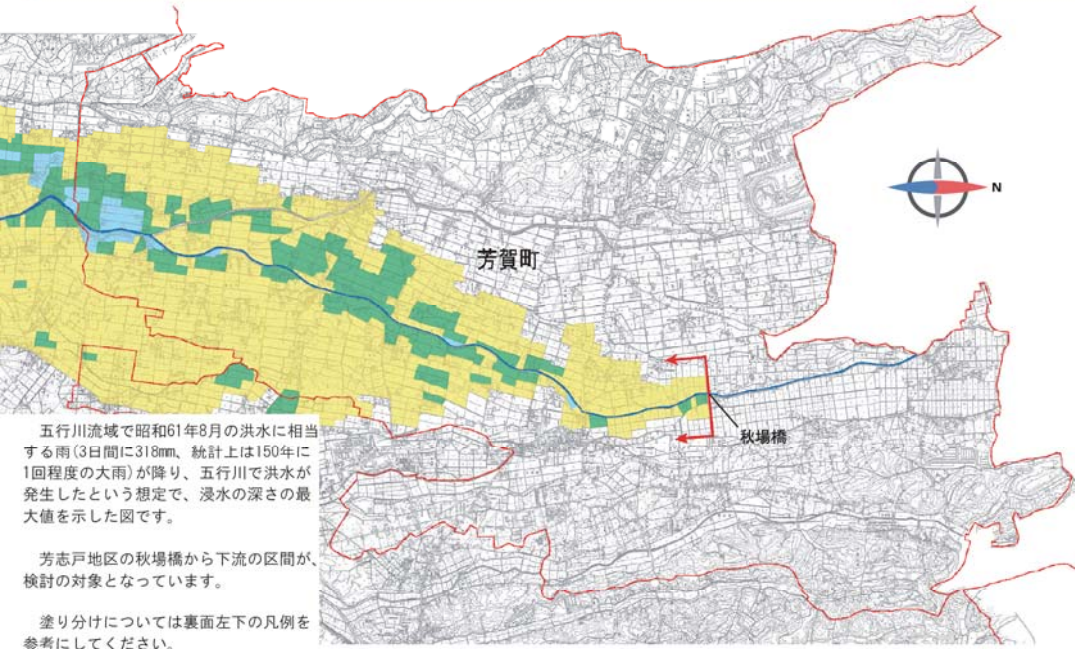


五行川浸水想定区域図



五行川流域で昭和61年8月の洪水に相当する雨(3日間に318mm、統計上は150年に1回程度の大雨)が降り、五行川で洪水が発生したという想定で、浸水の深さの最大値を示した図です。

芳志戸地区の秋場橋から下流の区間が、検討の対象となっています。

塗り分けについては裏面左下の凡例を参考にしてください。



芳賀町 鬼怒川・五行川 洪水ハザードマップ

平成20年3月作成 芳賀町総務課

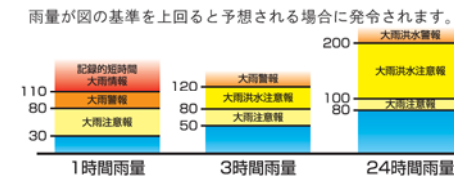
正しい地域情報を知るには

■ 気象予報・警報の内容

■ 気象予報と警報・注意報

栃木県の気象予報は南部・北部の2区域に分けて発表され、芳賀町は「南部」に含まれます。警報・注意報は県央部・南東部・南西部・那須地域・日光地域の5区分で、芳賀町は「南東部」に含まれます。

■ 警報・注意報の発令基準 (栃木県南東部の値、単位: mm)



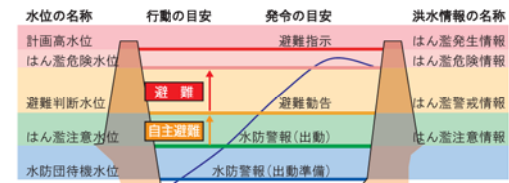
■ 雨の降り方と強さ(参考)

やや強い雨: 1時間に10~20mm 地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら、警戒が必要。	強い雨: 1時間に20~30mm 「土砂降りの雨」です。傘をさしていても濡れてしまうほどです。テレビ・ラジオの天気予報などに注意し、長引きそうなら避難の心構えを。
激しい雨: 1時間に30~50mm 「バケツをひっくり返したような雨」です。かけ崩れ、山崩れも起こりやすく、道路規制も行われます。避難の準備を。	非常に激しい雨: 1時間に50~80mm 「滝のような雨」です。あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川がはん濫して水害が起こるおそれがあり、避難勧告等が出る場合があります。

■ 洪水情報の内容

■ 公表される情報と行動の目安

河川の水位を参考に、避難勧告や避難指示、各種の洪水情報が出されます。こうした情報は、テレビなどの報道機関を通じて公表されるほか、インターネットでも随時提供されています(アドレスは、この段の右端にあります)。



■ 近隣での河川の水位基準

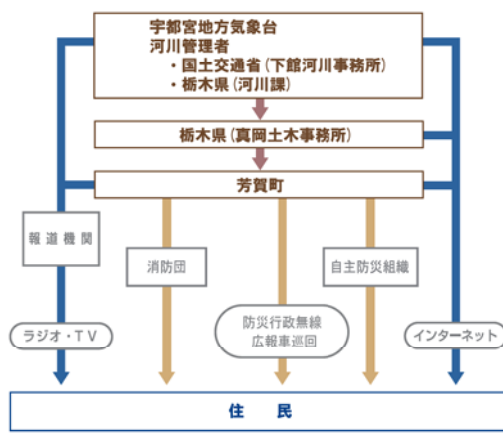
水位	鬼怒川		五行川	
	佐貫(下) (増谷町)	石井(右) (宇都宮市)	岡部橋 (芳賀町)	妹内橋 (真岡市)
堤防設計水位	—	3.93m	3.00m	3.20m
はん濫危険水位	3.40m	3.10m	—	3.20m
避難判断水位	2.40m	2.10m	—	2.70m
はん濫注意水位	2.30m	1.50m	1.10m	1.90m
水防団待機水位	1.50m	1.00m	0.80m	1.60m

※基準値は、見直される場合があります。

災害時の情報源と問い合わせ先は

■ 避難情報の伝達経路

- 青い矢印: 気象情報・洪水予報(注意報・警報)の他に、災害時には避難勧告・指示も伝達します。
- 茶色い矢印: 災害情報の伝達経路です。
- オレンジい矢印: 災害時の避難勧告・指示の伝達経路です。



■ 関係機関一覧

電話番号

いざという時は 119番

★関係機関

機関等の名称	電話番号
芳賀町 防災担当	028(677)6029
河川・道路 建設課 土木係	028(677)1113
下水道 都市計画課 下水道係	028(677)6021
上水道 芳賀中部上水道企業団 総務係	028(677)1661
消防 芳賀地区広域行政事務組合 消防本部	0285(82)0119
警察 芳賀分署	028(677)0212
警察 栃木県警察 真岡警察署	0285(84)0110
ライフライン 固定電話 NTT東日本栃木支店 設備部災害対策室	028(662)4256
関連機関 都市ガス 東京ガス宇都宮支社	028(634)1911
電気 東京電力 栃木カスタマーセンター	0120(995)112

★土砂災害情報電話応答通報システム(芳賀町) 028(677)0893

■インターネットを利用した情報収集

★気象情報 宇都宮地方気象台 <http://www.tokyo-jma.go.jp/home/utsunomiya/>

★河川水位・雨量情報 国土交通省 (携帯電話用) <http://www.river.go.jp/> (携帯電話用) <http://l.river.go.jp/> 栃木県 <http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/> (携帯電話用) <http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/m/>

過去の災害に学びましょう

■ 過去の災害について

■ 過去の災害

芳賀町や近隣地域で過去に被害が発生した台風・豪雨としては、次のようなものがあります。

1986(昭和61)年8月4~5日 台風10号(茂木町水害)	総雨量311.4mm、床上床下浸水811世帯、田畑冠水371ha等、被害総額約8億5500万円
1966(昭和41)年9月24日 台風26号	
1966(昭和41)年6月28日 台風4号	家屋の倒壊、床上浸水、田畑の冠水、橋梁の流失等の被害をもたらした主なもの
1965(昭和40)年6月4日 台風8号	
1965(昭和40)年5月27日 台風6号	



近年では局地的かつ記録的な集中豪雨が発生していますので、このマップを参考に浸水しづらい区域、避難場所等を確認しておきましょう。

写真：昭和61年8月4~5日 台風10号および温帯低気圧に伴う洪水の様子

災害時に備えて準備しましょう

わが家の避難場所	災害時の緊急連絡先	持出品チェックリスト		
	※確実に連絡の取れる親類・知人など	懐中電灯 携帯ラジオ 携帯電話		
家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校等の電話番号	飲料水 (1人1日3リットル) 非常食
				医薬品
				衣類 (肌着類も)
				貴重品・現金 ※小銭は公共電話などに便利です。

ラジオ局周波数

NHK 第1	594kHz
栃木放送(CRT)	1530kHz
RADIO BERRY	76.4MHz
NHK FM 栃木	80.3MHz

「NTT災害伝言ダイヤル」の使い方

①伝言を登録する場合(音声案内があります)
[171]をダイヤル → 音声ガイドに従い[1]をプッシュ → 028-xxx-xxxx(被災者の電話番号)

②伝言を聞く場合(音声案内があります)
[171]をダイヤル → 音声ガイドに従い[2]をプッシュ → 028-xxx-xxxx(被災者の電話番号)

詳しくは <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

平常時と災害時の心構え

■ 災害に備えた、平常時の心構え

① 安全な避難路の確認を



避難場所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

② 非常持ち出し品の事前準備を



避難するときの荷物は必要なものだけとし、事前に準備しておきましょう。

- 携帯電話・携帯ラジオ
- 飲料水や非常食
- 医薬品・衣類・貴重品など

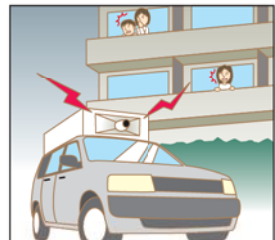
■ 避難時の心構え

① 正確な情報収集と早めの行動を



ラジオ・テレビ・インターネットで最新の気象情報や避難情報などの災害情報を入手しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら早めに行動するよう心がけましょう。

② 避難の呼びかけに注意を



危険が予想される状況となった場合には、町役場などから避難の呼びかけをすることがあります。避難の呼びかけがあった場合には、すみやかにそれに従ってください。

③ お年寄りなどの避難に協力を



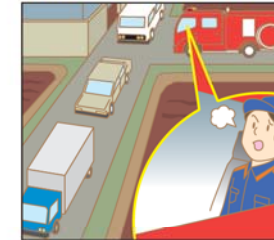
お年寄りや子供、病人、障害のある人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病人などの避難に協力しましょう。

④ 動きやすい服装、2人以上での避難



避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。その際には、さぐり棒を持ち、側溝や排水路に転落しないように注意してください。

⑤ 自動車での避難は控えて



自動車での避難は、緊急車両の通行の妨げになりますので、控えてください。

⑥ 道路に車を放置しない



水防活動の妨げになりますので、自動車を道路や河川沿いに放置しないようにしましょう。